六月定例町議会報告

6月定例会は6月11日から21日まで開催されました。主な案件は22年度補正予算、職員の勤務時間・休暇に関する条例改正、職員の育児休業等に関する条例改正、公共施設等整備基金の設置条例などでした。専決処分(※)として21年度補正予算、税条例、国保の一部改正などが提案されました。党議員団の対応と陳情の採決結果をお知らせします。

承認事項（専決処分）

○税条例の一部改正

▽賛成（共産党）

所得税の年少扶養控除廃止により、個人住民税の給与所得者・公的年金等受給者の扶養親族情報収集のための根拠を規定する。

○国民健康保険税条例の一部改正

▽賛成（共産党）

医療分限度額を50万円、支援分限度額を13万円に引き上げる。

雇用主の都合による失業者を救済するために国が保険料の70％を負担する。

※専決処分：本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することを言う。次の議会で報告し、議決されなければならない。

議案

○22年度補正予算

▽賛成（共産党）

★堀の内自治会コミュニティ助成事業助成金：220万円、「かかし祭り」を中心とした活動が評価された。音響機器、コピー機、椅子などの購入に使用。

★保健センターの冷房機1台の更新：壊れたため買い替えに661万円。

★農業近代化施設整備補助：農業機械の購入に30％補助、870万円

★有害鳥獣駆除事業：ぶどう園との境に電気柵設置、150万円

★JR穂高駅～松川駅と町内観光スポットをめぐる町営バス路線を新たに設置：住民ボランティアがガイドを務める。県の元気づくり支援金。8月～12月の日曜日に運行。73万3千円

★高瀬橋東緑地帯改修：花が育つように420㎡の土の入れ替える。135万円

★消防団で使用する備品整備：バルー照明器、ジェットシューター、アルミ製ホース背負い機などを購入。199万円

○職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

▽賛成（共産党）

時間外勤務時間が月60時間を超えた職員に対して、「超勤代休時間」の制度が新設された。

○職員の育児休業等に関する条例の一部改定

▽賛成（共産党）

育児・介護休業法が改正され、6月30日からの施行に伴うもの。

職員の配偶者の就業の有無にかかわりなく、早出・遅出勤務の請求、深夜勤務の制限の請求が出来る。

3歳に満たない子を養育するために時間外勤務の制限を請求した時は、時間外勤務をさせてはならない。親などの介護を行う職員にも適用する。

配偶者の育児休業取得の有無や就業の有無等の状況に関係なく、育児休業を取得できる。特別の事情がない場合でも、再度の育児休業の取得ができる。

◎公共施設等整備基金の設置、管理及び処分に関する条例制定

▽賛成（共産党）

公共施設等の整備充実に使うための基金を創設。改修、建て替えを必要とする建物の優先順位を決めて実施する。

【陳情】

○農業農村整備事業の推進についての要望書採択

▽賛成：共産党

陳情者：池田町土地改良区

農業用水路や畑地かんがい施設の更新など、計画的な整備促進をはかることなど4項目の陳情。

継続審査

○長野県地方税滞納処理のため徴収体制の共同化に反対する陳情

▽採択を主張：共産党

陳情者：長野県税金オンブズマン

県では地方税滞納処理のため、徴収体制の共同化を行うことを決めた。

この実施により様々な人権侵害や中小企業の倒産、雇用喪失を招くことが危惧されるので、共同組織の設置に反対する陳情。

総務福祉委員会で共産党議員は採択を主張したが、「内容がよく分からない」との議員が多く、継続審査となる。本会議でも、共産党以外の賛成で継続審査。

一般質問

山本久子議員

「町の福祉の実態と今後の取り組みについて」質問しました。事前に「大北市町村の福祉サービスの実態調査」を行い、このデータに基づいて町の姿勢を質しました。

山本議員

町長はよく「池田町は福祉が進んでいる」と発言するが、その根拠は。

勝山町長

福祉に関係する諸機関を「やすらぎの郷」に集中させた。ここに来れば福祉のこと全ての用事がすませることができる。高齢者は200円で入浴が出来る。

町の子育て支援は県下でも注目される内容となっている。

病院、福祉施設等が町内に多くあり充実している。

お金で補助する施策は他町村に劣る点がある（※）が、健康づくりや、障害福祉に配置された専門職は、きめ細かな訪問を重ね、手厚い支援が出来ている。

※在宅介護慰労金など次頁【福祉近隣比較】参照

山本議員

福祉サービスの周知のためホームページの改善を

▼検討する。

福祉サービスは本人が申請しないと利用できない。ホームページのトップ画面で、使えるサービスを簡単に検索できるよう改善し、広報でも分かりやすく周知して欲しい。

相馬福祉課長

検索しにくいという声もあるので、ホームページの検討委員会で論議したい。民生委員にも福祉サービスの内容を記載したプリントを渡して、訪問先で知らせていただくようにする。

介護サービスを低所得者も利用できるように料金補助を

▼できない。

山本議員

社協が実施している「サポートてるてる事業」は、会員同士の助け合い事業として運営され、介護保険外サービスの大部分を担っている。30分300円という料金だが、低所得者は利用しにくいのではないか。

他市村の実態を見ると1時間200円くらいなので補助出来ないか。

相馬福祉課長

サービスを提供する協力会員、受ける依頼会員、どちらからも料金についての不平不満は聞いていない。

町は人件費や指導者養成講座開催への補助金は出しているが、社協も民間事業所なので、特別に料金補助は出来ない。

配食サービスに補助を

▼サポートセンターで

検討する。

山本議員

「サポートてるてる」の弁当配達を利用している人が多いと聞く。大北市町村中、配食サービスに自治体補助がないのは池田町だけなので、低所得の方々が安く利用でき、介護保険該当外の高齢者や障害者も利用できるように補助をして欲しい。

相馬福祉課長

ケアマネや地域包括センターの職員が相談支援に入りながらサービスを使っていただいている。

2年前に社協で65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯を対象にアンケートをとったところ、6％が週に2、3回の配食を希望していた。民間業者の食材配達などを利用する方法もあると考える。

山本議員

「カモミールの会」の設立時には配食サービスを行うという話があったが立ち消えとなっているのか。

勝山町長

会では作ることはいいが、配達まで手が回らないとのこと。サポートセンターが出来たので、配達網も検討したい。

福祉有償サービス料金に補助を

▼有償運送協議会で検討

する。

山本議員

社協に委託してバスやタクシーなど公共交通機関を利用することが困難な高齢者や障害者に、片道600円、1キロ40円加算で福祉有償サービスを実施している。

大北管内他市村に比べて料金が高い。町内を回る場合は300円ぐらいにして、不足分を町が負担出来ないか。

社協の会員同士の助け合い事業という形態で、ガソリン代だけ利用者負担で送迎体制がとれないか。

「通院のためのタクシー券補助」の実施はどうか。

相馬福祉課長

21年度実績では、障害者と高齢者を合わせて利用者数延べ1095件で、町から1件1600円を補助金として支出している。約30％が利用者負担。

有償運送の登録期限が切れるため、有償運送協議会を開催して利用者の拡大、料金の検討を行いたい。

送迎については、以前事故が起きたことがあり、実現は難しい。

福祉タクシー券の配布は、よその市町村で不正な取引があったと聞いているので慎重な取り組みが必要。

家族介護世帯への

おむつ代の助成を

▼検討する。

山本議員

他市村で実施しているように、家族介護の町民税非課税世帯を対象に、紙おむつ代の助成を行って欲しい。

相馬福祉課長

介護度4以上の、非課税の方に対し検討したい。

山本議員

介護している家族をフォローする取り組みをぜひ強化してほしい。気軽に悩みを相談員が聞いて、対応を図ることを一番にやってほしい。介護者が気軽に集まって情報を交換して元気が出る取り組みが必要。

相馬福祉課長

家族介護の相談会や慰労会など、悩みを相談する会の設立を検討したい。

【福祉近隣比較】

①在宅介護慰労金＝在宅で介護している介護者への慰労金：松川村、大町市、小谷村で実施

支給額：年3～10万円

②家族介護用品への助成＝家族で介護している紙オムツ代などを助成：松川村、大町市、白馬村小谷村で実施

支給限度額：年約3～10万円

池田町は重度障がいの人等に限り実施

注：①、②とも支給要件あり（要介護4以上等）